

待機児童解消に向けた試算について

1 試算条件

平成28年4月待機児童数154人を解消するため、次の(1)から(3)までの条件で特定保育施設、小規模保育施設を整備した場合の、施設整備コストと運営コストを試算する。

(1) 施設定員

(単位：人)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
特定保育施設	6	10	11	11	11	11	60
小規模保育施設	6	6	7	/	/	/	19

(2) 施設整備コスト（1園当たり）

(単位：千円)

施設整備コスト		財源内訳		
	特定保育施設	国・都負担	事業主負担	市負担
A	130,000	45,500	19,500	65,000
	小規模保育施設	国・都負担	事業主負担	市負担
B	25,814	18,489	6,889	436

(3) 運営コスト（1人当たり月額）

(単位：千円)

運営コスト		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
	特定保育施設	336	219	219	144	120	120
財源 内訳	国・都負担	173	108	108	72	59	59
	利用者負担	23	23	23	13	13	13
	市負担	140	88	88	59	48	48
	小規模保育施設	278	198	198	/	/	/
財源 内訳	国・都負担	141	97	97	/	/	/
	利用者負担	23	23	23	/	/	/
	市負担	114	78	78	/	/	/

※運営コスト＝施設給付費（公定価格）＋各種補助金

2 条件別試算

(1) 特定保育施設 8 施設・小規模保育施設 0 施設

施設整備による待機児童の解消数

(単位：人)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
H28年4月 待機児童数 ①	39	78	32	5	0	0	154
施設整備 定員の増 ②	48	80	88	88	88	88	480
特定保育施設 (8施設)	48	80	88	88	88	88	480
小規模保育施設 (0施設)	0	0	0	/	/	/	0
解消数 ①-②	▲ 9	▲ 2	▲ 56	▲ 83	▲ 88	▲ 88	▲ 326

市負担額の試算

(単位：千円)

施設整備コスト (単年度)	520,000	コスト計
内訳	特定保育施設 (8施設)	520,000
	小規模保育施設 (0施設)	0
運営コスト (ランニングコスト)	421,728	941,728
内訳	特定保育施設 (8施設)	421,728
	小規模保育施設 (0施設)	0

(2) 特定保育施設 6 施設・小規模保育施設 3 施設

施設整備による待機児童の解消数

(単位：人)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
H28年4月 待機児童数 ①	39	78	32	5	0	0	154
施設整備 定員の増 ②	54	78	87	66	66	66	417
特定保育施設 (6施設)	36	60	66	66	66	66	360
小規模保育施設 (3施設)	18	18	21	/	/	/	57
解消数 ①-②	▲ 15	0	▲ 55	▲ 61	▲ 66	▲ 66	▲ 263

市負担額の試算

(単位：千円)

施設整備コスト (単年度)	391,308	コスト計
内訳	特定保育施設 (6施設)	390,000
	小規模保育施設 (3施設)	1,308
運営コスト (ランニングコスト)	377,424	768,732
内訳	特定保育施設 (6施設)	316,296
	小規模保育施設 (3施設)	61,128

(3) 特定保育施設 4 施設・小規模保育施設 7 施設

施設整備による待機児童の解消数

(単位：人)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
H28年4月 待機児童数 ①	39	78	32	5	0	0	154
施設整備 定員の増 ②	66	82	93	44	44	44	373
特定保育施設 (4施設)	24	40	44	44	44	44	240
小規模保育施設 (7施設)	42	42	49	/	/	/	133
解消数 ①-②	▲ 27	▲ 4	▲ 61	▲ 39	▲ 44	▲ 44	▲ 219

市負担額の試算

(単位：千円)

施設整備コスト (単年度)	263,052	コスト計
内訳	特定保育施設 (4施設)	260,000
	小規模保育施設 (7施設)	3,052
運営コスト (ランニングコスト)	353,496	616,548
内訳	特定保育施設 (4施設)	210,864
	小規模保育施設 (7施設)	142,632